

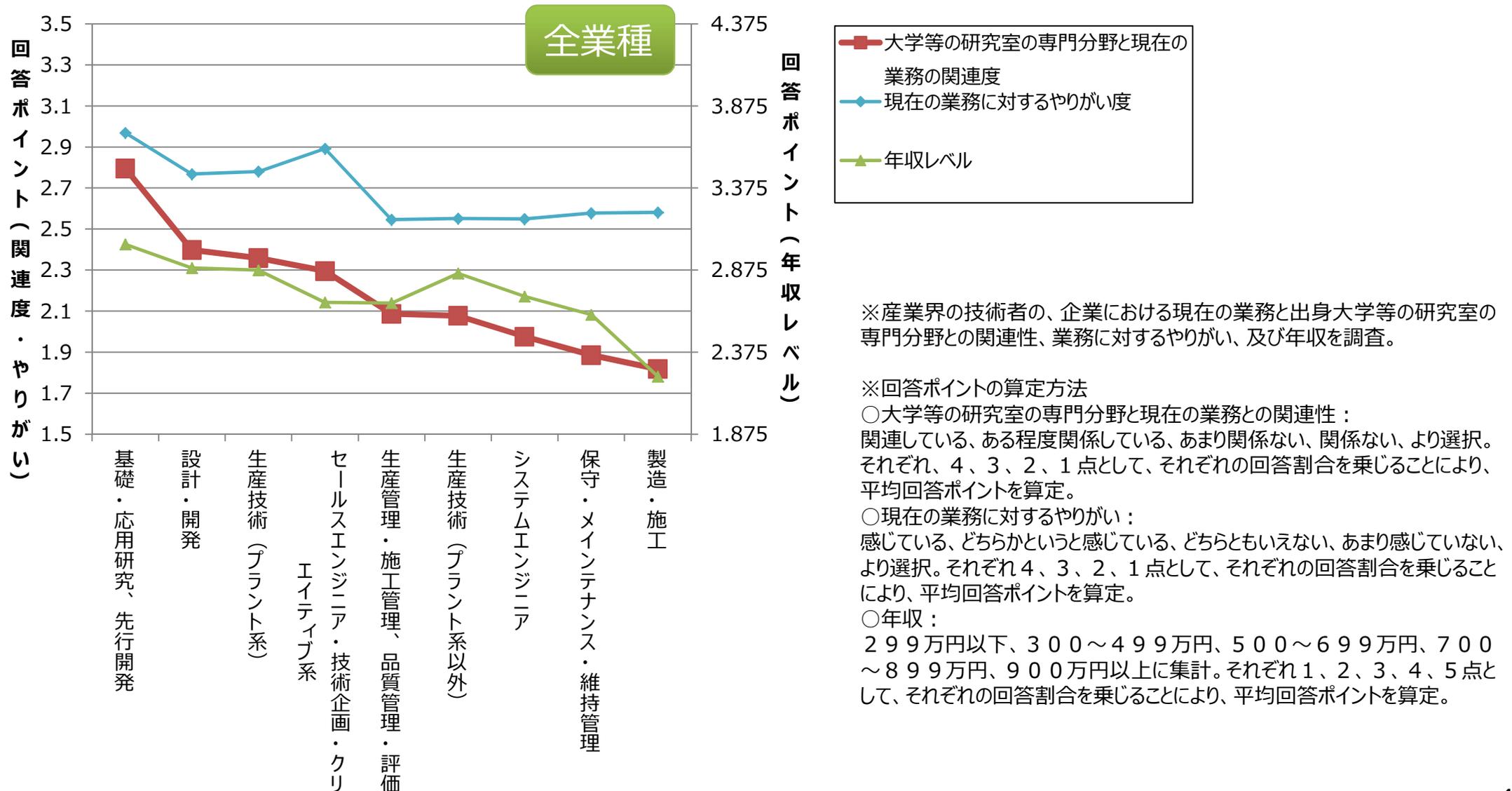
理工系人材育成に係る追加分析データ (産業界のイノベーションニーズと学びニーズの関係、 理系女性に係る分析データ等)

平成27年9月25日

経済産業省 大学連携推進室

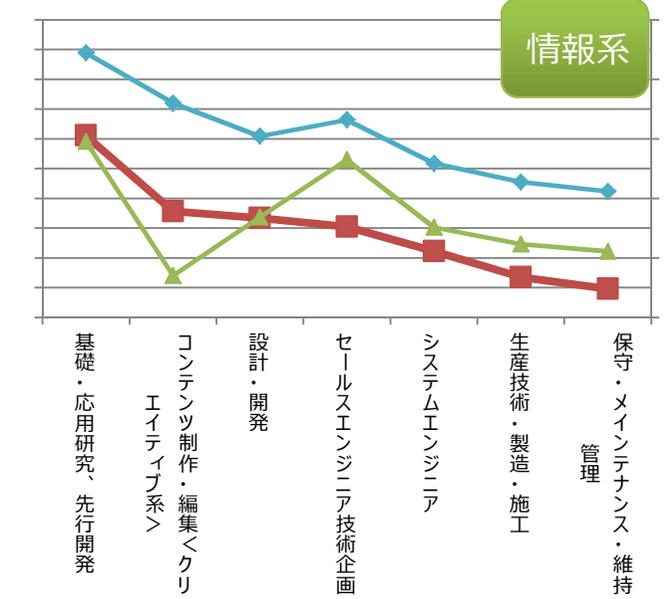
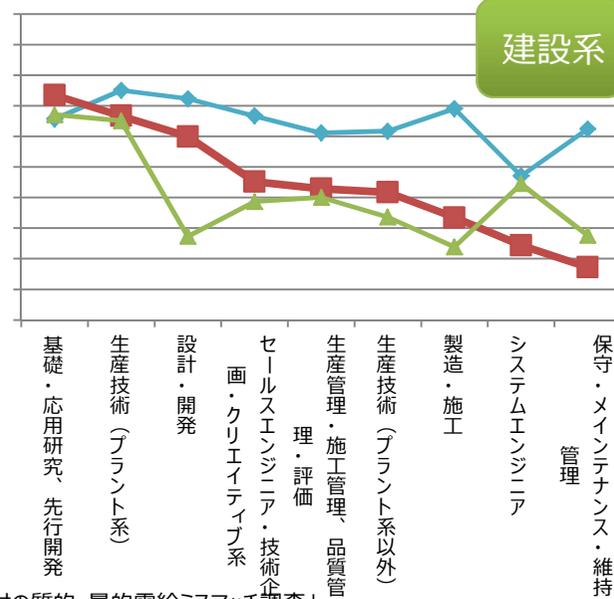
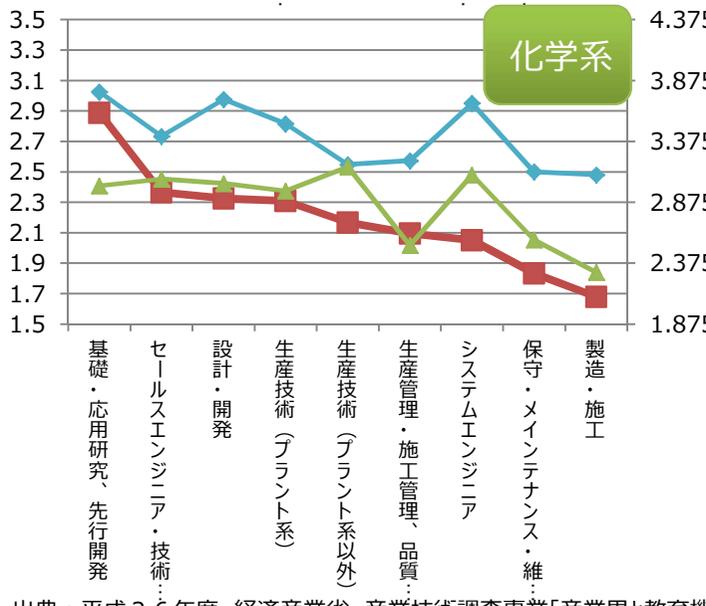
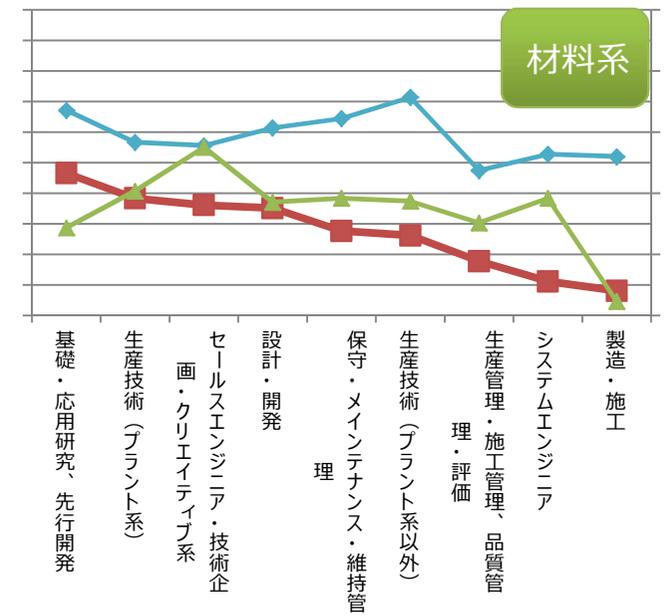
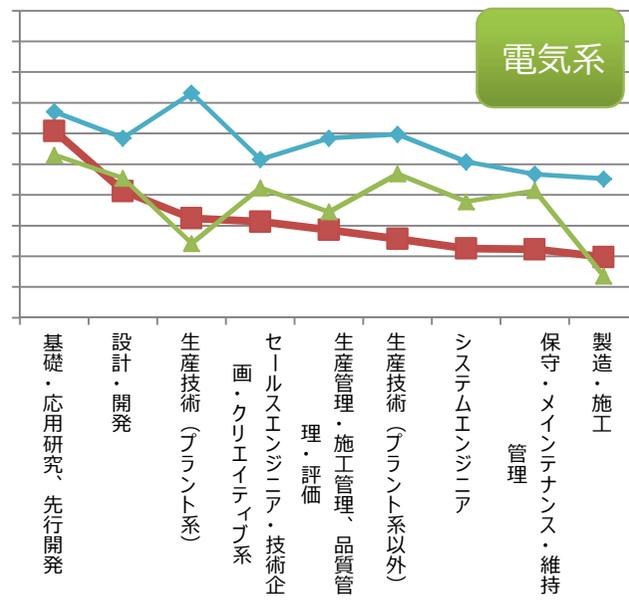
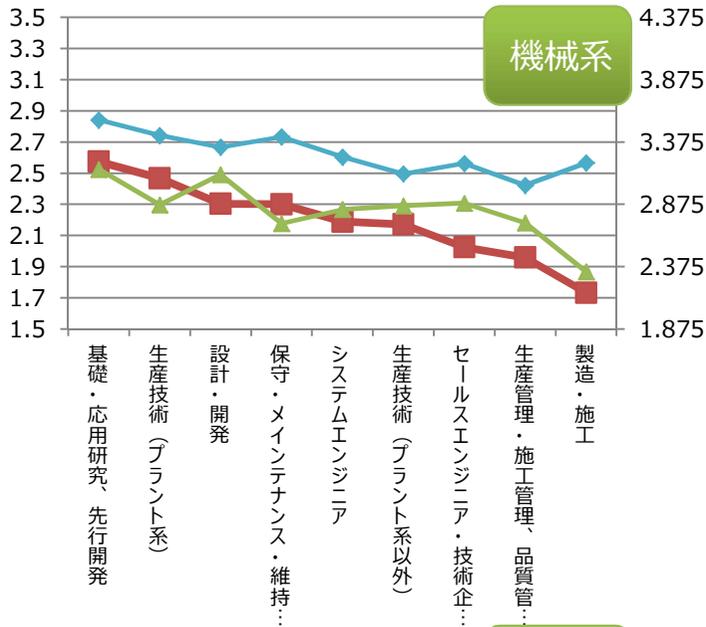
大学等における専門分野を活かした就業と仕事のやりがい、年収との関係①

- 専門性が高い職種においては、技術者が企業において従事している業務と、大学等における専門分野との関連性が高い傾向が見られる。また、業務に対するやりがいや年収の水準とも、概ね正の相関が見られる。



大学等における専門分野を活かした就業と仕事のやりがい、年収との関係②

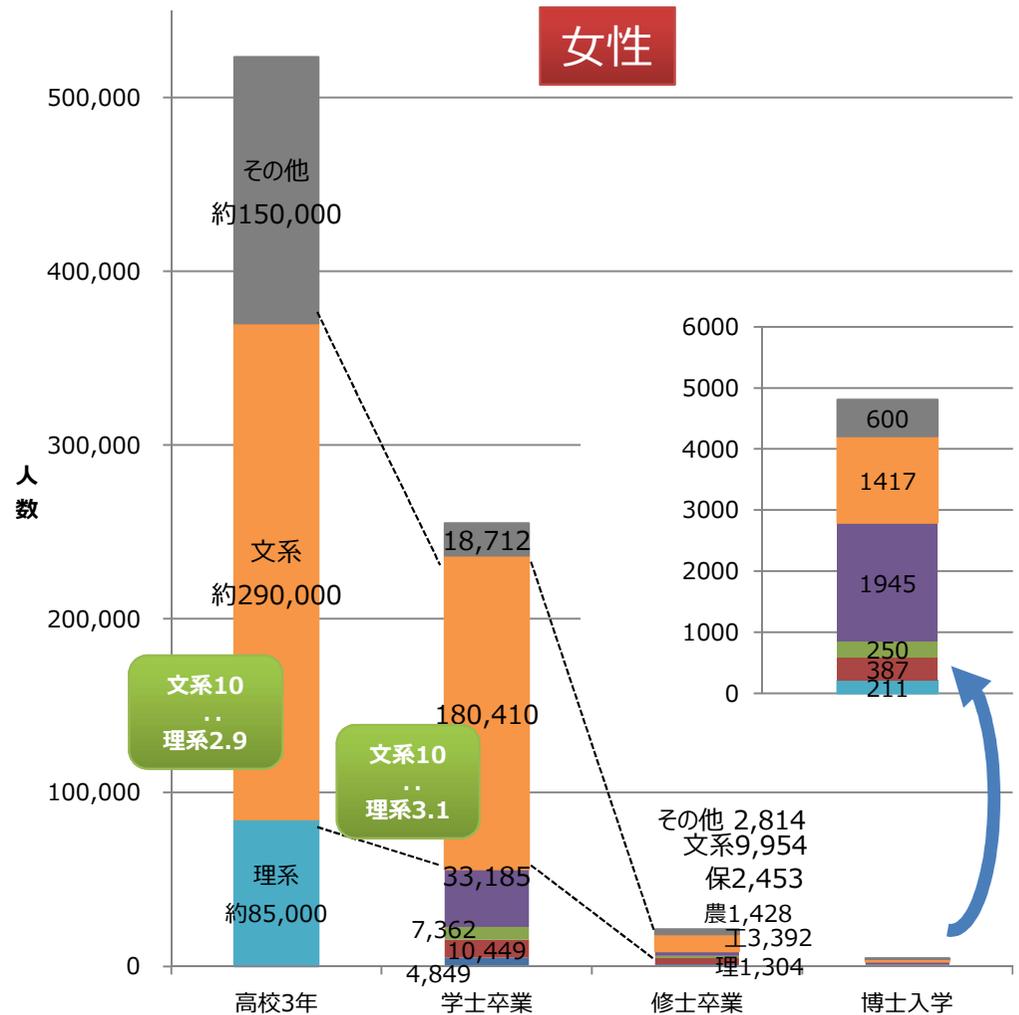
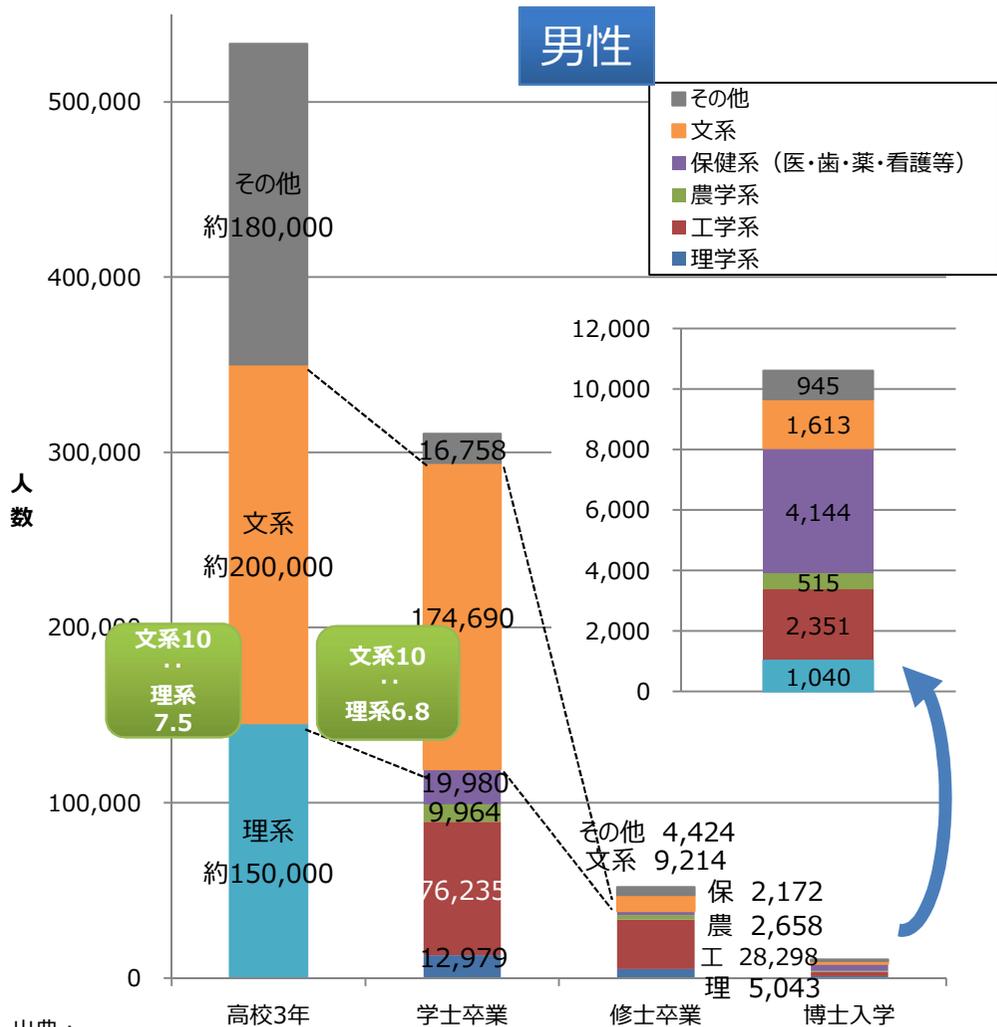
- 業職種内訳を見ると、概ねいずれの業種においても、大学等における専門分野を活かした就業と、仕事のやりがいには正の相関が見られる。一方、仕事のやりがいと、年収の水準との関係については、相関関係は弱い。



出典：平成26年度 経済産業省 産業技術調査事業「産業界と教育機関の人材の質的・量的需給ミスマッチ調査」

高校、大学、大学院における文・理状況の男女比較（人数）

- 高校3年において、理系志望の女性は男性と比べて少なく、概ねその傾向は学士の割合に反映されている。
- 修士課程へ進学する農・保系学士は少ない。このため、特に女性に関しては、理系修士への進学割合が低く、修士以降に占める女性比率が著しく低下している。
 [理系男女比： 高校3年 10:5.7 → 学士 10:4.7 → 修士 10:2.2 → 博士 10:3.4]

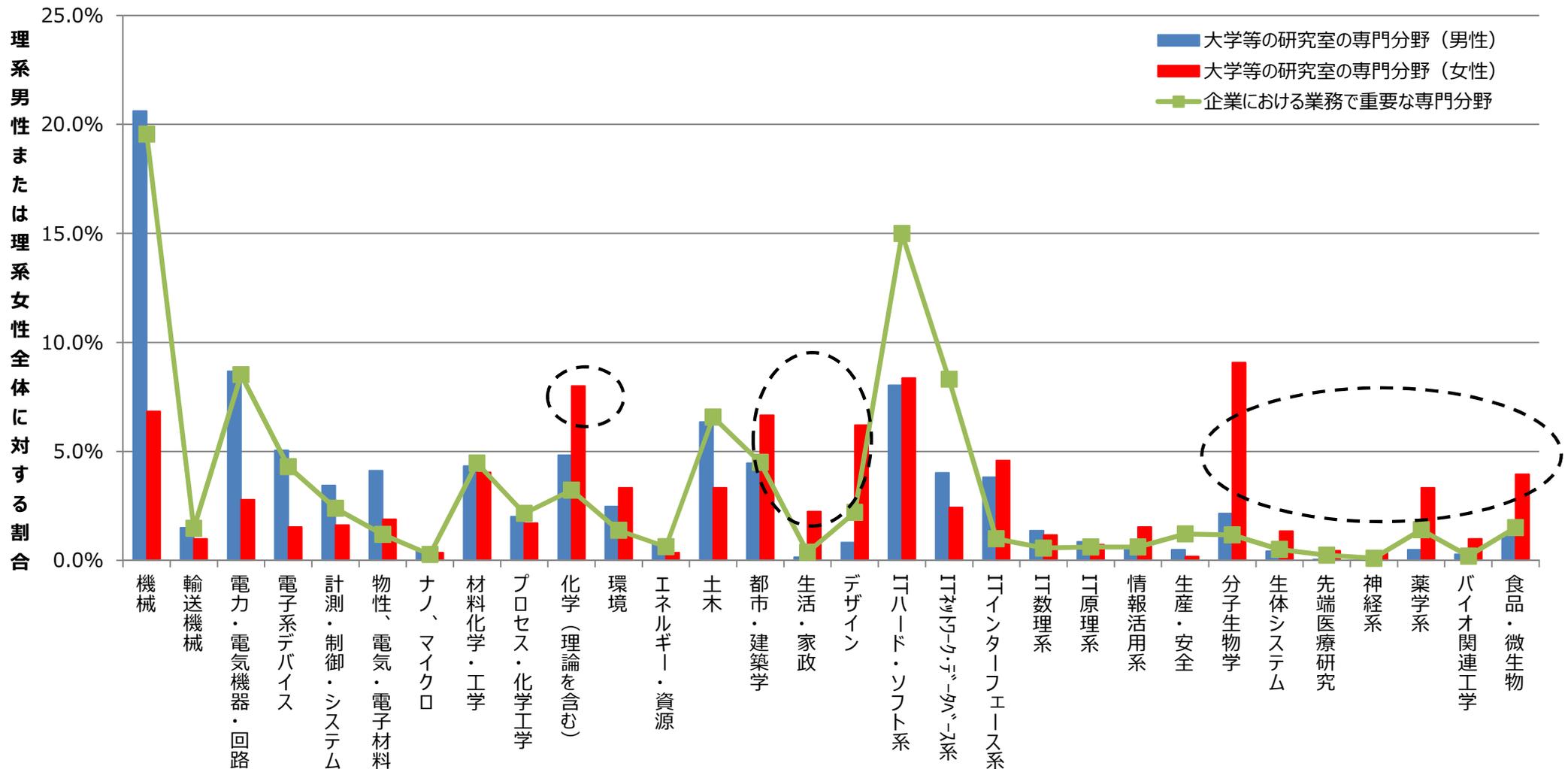


出典： 高校生学習コース内訳：国立教育政策研究所「中学校・高等学校における理系進路選択に関する調査研究（平成25年6月）」、および平成23年度文部科学省学校基本調査に基づき推計。
 学士、修士卒業における学科内訳：平成26年度文部科学省学校基本調査に基づき作成。

技術系職務従事者の出身専門分野の男女比較

- 大学等における出身専門分野に関して、女性は男性と比べて、機械、電気、土木分野出身の割合が少なく、その一方で、化学、生活・家政、デザイン、バイオ系等の割合が高い。
- 女性の場合、生活・家政やバイオ系など、産業ニーズが比較的低い分野からの輩出が多い。

理系出身男性（n=6,994人）または理系出身女性（n=1,112人）それぞれに対する割合



出典：平成26年度 経済産業省 産業技術調査事業「産業界と教育機関の人材の質的・量的需給ミスマッチ調査」